

表1 安否確認表

年 月 日(地震・津波・)の災害

訪問看護ステーション

優先度	氏名	重傷度	住所	Tel	緊急連絡先Tel	確認日	安否状況	自宅	避難所など	訪問の必要性の有無	主治医	備考
1				-	-	/	生存・死亡・負傷					
2				-	-	/	生存・死亡・負傷					
3				-	-	/	生存・死亡・負傷					
4				-	-	/	生存・死亡・負傷					
5				-	-	/	生存・死亡・負傷					
6				-	-	/	生存・死亡・負傷					
7				-	-	/	生存・死亡・負傷					
8				-	-	/	生存・死亡・負傷					
9				-	-	/	生存・死亡・負傷					
10				-	-	/	生存・死亡・負傷					
11				-	-	/	生存・死亡・負傷					
12				-	-	/	生存・死亡・負傷					
13				-	-	/	生存・死亡・負傷					
14				-	-	/	生存・死亡・負傷					
15				-	-	/	生存・死亡・負傷					
16				-	-	/	生存・死亡・負傷					
17				-	-	/	生存・死亡・負傷					
18				-	-	/	生存・死亡・負傷					

\* 優先度は、重症度とは異なります。介護力があれば重症度が高い方でも避難できます。  
優先度・重症度の基準を各ステーションで決めておきましょう。簡単にわかりやすい区分がいいでしょう。

優先度

- A ・生命に影響が高い医療機器を使用中(人工呼吸器・在宅酸素など)  
・介護力が乏しい(独居・全介助・寝たきり状態など)
- B ・全介助だが介護力はある。  
・AでもCでもない人
- C ・自力もしくは半介助で避難できる  
・介護力があり避難できる

重症度

- 3 ・人工呼吸器を使用  
・在宅酸素を使用
- 2 ・状態が不安定な人  
・3でも1でもない人
- 1 ・生命の危険性が無い  
・状態が安定している